

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都 道 府 県 名：大阪府
農 業 委 員 会 名：富田林市 農業委員会

I 農業委員会の状況 (令和 3 年 4 月 1 日現在)

1 農家・農地等の概要

		農家数(戸)	
総農家数		1094	
自給的農家数		686	
販売農家数		－	
	主業農家数	－	
	準主業農家数	－	
	副業的農家数	－	

※ 農林業センサスに基づいて記入。

		農業者数(人)	
農業就業者数		－	
	女性	－	
	40代以下	－	

※ 農林業センサスに基づいて記入。

		経営数(経営)	
認定農業者		68	
基本構想水準到達者		21	
認定新規就農者		6	
農業参入法人		9	
集落営農経営		0	
	特定農業団体	0	
	集落営農組織	0	

※農業委員会調べ

単位:ha						
	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	491	154				645
経営耕地面積	183	63	47	16		246
遊休農地面積	1.2					1.2
農地台帳面積	537.9	175.6				713.5

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会 任期満了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	-							
女性	-							
40代以下	-							

新制度に基づく農業委員会 任期満了年月日 R 5 年 7 月 19 日

	農業委員				
	定数	実数	定数	実数	地区数
農業委員数	14	14	農地利用最適化推進委員 7 7		
認定農業者	-	2			
認定農業者に準ずる者	-	5			
女性	-	2			
40代以下	-				
中立委員	-	1			

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現状 (令和3年 4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	645 ha	34.3 ha	5.32 %
課 題	都市化の進展による優良農地の減少や、農業者の高齢化による担い手の減少が予想される厳しい状況にある。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 35 ha (うち新規集積面積 1 ha)
	目標設定の考え方: 昨年度と同等の目標を定める
活動計画	5・9・1月に発行する農業委員会だよりに啓発記事を掲載する。各地区農業委員・推進委員から担い手へ経営規模拡大依頼や、農地の貸借の情報提供を行う。各 中間管理 機構等関係機関と連携し、農地の利用集積に取り組む。

- ※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入
※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入
※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	H30年度新規参入者数	R1年度新規参入者数	R2年度新規参入者数
	2 経営体	2 経営体	1 経営体
	H30年度新規参入者が取得した農地面積	R1年度新規参入者が取得した農地面積	R2年度新規参入者が取得した農地面積
	0.42 ha	0.4 ha	0.3 ha
課 題	農業従事者が減少する中、新規参入者の情報が少なく、情報収集が困難になっている。		

- ※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)
※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	3 経営体	参入目標面積	0.7 ha
活動計画	毎月開催される農業委員会定例会や、若手農業者団体の会合や実行組合の総会等で情報収集を行い、新規参入者の参入を促す。		

- ※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入
※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現状 (令和3年 4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	645 ha	1.2 ha	0.19 %
課 題	遊休農地は市内全域にみられるが、比較的多く発生してる地域としては、山間部等の傾斜地で、機械化が困難な農地が多い。また、農業従事者の約80%が50歳以上であり、高齢により耕作が出来ない人が増えるとともに、後継者不足や相続などにより不在地主となった遊休農地が多い。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消 0.6 ha		
		目標設定の 遊休農地を半減させる 考え方:		
活 動 計 画	農地の利用状況 調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		23 人		5 月 ～ 8 月
		調査結果取りまとめ時期		
		9 月 ～ 11 月		
	農地の利用意向 調査	調査方法		農業委員・推進委員や実行組合長の協力による農地パトロールを実施する。
	その他	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期
		11 月 ～ 12 月		1 月 ～ 2 月

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
- ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
- ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現状 (令和3年 4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	645 ha	0 ha
課 題		

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	農業委員、推進委員や実行組合長の協力による農地パトロールを5月から8月に実施する。 5・9・1月に発行する農業委員会だよりに啓発記事を掲載する。
------	---

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入